

「Web OYA-bunko 公立図書館版」利用規定

第1条（本サービスの内容）

「Web OYA-bunko 公立図書館版」（以下「Web 公立図書館版」という）とは、財団法人大宅壮一文庫（以下「大宅壮一文庫」という）が国または地方公共団体の設置する公立図書館を対象にインターネット上で提供する大宅壮一文庫雑誌記事索引検索サービスを指します。本利用規定の全条項に同意した契約者（以下「利用機関」という）に限り利用できます。

第2条（「Web 公立図書館版」の著作権）

「Web 公立図書館版」の著作権は大宅壮一文庫に帰属します。日本の著作権法及び国際条約により保護されています。

第3条（利用規定の遵守と変更）

利用機関は本利用規定および各手引き等を遵守するものとします。また、大宅壮一文庫は利用機関に事前の通知をすることなく本利用規定を変更することができるものとします。

第4条（利用契約）

1. 利用契約は利用機関から所定の申込書が大宅壮一文庫に提出され、大宅壮一文庫から利用機関にID等記載の利用開始通知書を発行することにより開始します。利用開始日は利用開始通知書に記載します。また、利用機関が利用終了の通知を書面で大宅壮一文庫に届け出たとき、または次年度分の利用料金が別に定める支払期限日までに納付されないときは利用契約を終了するものとします。

2. 申込は申込書原本を大宅壮一文庫に郵送、あるいは来館して提出された場合に限り受け付けるものとします。電話、ファクシミリ、電子メールでは受け付けできません。

3. 利用開始通知書は利用料金の納付確認後、利用機関に郵送いたします。ユーザー情報保護のため、電話、ファクシミリ、電子メールでの通知は一切いたしません。

4. 利用機関は利用申込内容に変更を生じた場合は、ただちに大宅壮一文庫に書面で通知するものとします。当該通知を怠ったことにより利用機関が被った損害について大宅壮一文庫はその責任を負わないものとします。また、変更によって本サービスの利用に支障が生じた場合は利用機関が責任を持つものとします。

5. 大宅壮一文庫は利用機関の利用申込情報を第三者に一切告知しないものとします。利用機関からの問い合わせについても、利用機関側の本サービス管理担当者から書面で求めがあった場合に限り受け付けます。その場合も大宅壮一文庫からの回答通知は郵送するものとします。電話、ファクシミリ、電子メールでの通知は一切いたしません。

第5条（利用の承認と取消）

1. 利用機関が「第5条の2」以下の各項に該当する場合は利用を承認しない場合があります。また承認後であっても承認を取り消す場合があります。

2. 過去に本規定に違反するなどにより解約が行われていることが判明した場合。

3. 利用申込内容に虚偽、重大な誤記または記入漏れがあることが判明した場合。

4. その他、「第13条（利用上の禁止行為）」に該当することが判明した場合。

第6条（契約期間）

1. 利用契約の期間は4月1日から翌年3月31日までの1年単位とします。ただし、年度途中から利用開始の場合は初年度のみ開始月から3月31日までとします。

2. 契約を更新する場合も利用契約の期間は4月1日から翌年3月31日までの1年単位とします。

第7条（利用契約の解除）

1. 利用機関が本サービスを解約する場合は、利用終了の通知を書面で大宅壮一文庫に届け出るものとします。この場合、大宅壮一文庫は3月31日をもってサービスを終了いたします。

2. 中途解約の場合も利用機関が契約した本サービスの年額利用料金を全額お支払いいただきます。

3. 利用機関が利用規定に定める条項に違反した場合、大宅壮一文庫は事前に通告のうえ利用契約を解除できるものとします。ただし、「第13条（利用上の禁止行為）」に該当することが判明した場合は、事前の通告なくただちに利用契約を解除できるものとします。

第8条（「利用タイプ」と「利用者」）

1. 「Web 公立図書館版」には、「内部利用限定タイプ」と「図書館利用者使用可能タイプ」の2種類の利用タイプを設けます。

2. 本条の「利用者」とは「Web 公立図書館版」に接続し、本サービスの機能を直接利用できる者を指します。

3. 「内部利用限定タイプ」は、本サービスを直接利用できる者を利用機関に所属する者（図書館職員）に限定します。検索結果の印刷物等を、利用機関を利用する第三者（図書館利用者）に間接的に提供すること（検索結果や印刷物の閲覧等）は可としますが、本サービスを直接使用させ

ることは禁じます。また、本規定の第13条（利用上の禁止行為）の4の定めにより本サービス収録のデータを印刷物等により第三者（図書館利用者等）へ販売、譲渡、配布することを禁じます。本サービスの検索結果を印刷物等として第三者に閲覧提供した場合、利用機関が責任を持って回収することとします。

4. 「図書館利用者使用可能タイプ」は、「内部利用限定タイプ」で定める本サービスの「利用者」に加え、利用機関を利用する第三者（図書館利用者）が本サービスの検索機能のみ直接使用することを可とします。この場合も「内部利用限定タイプ」と同様に、本サービス収録のデータを印刷物等により第三者（図書館利用者等）へ販売、譲渡、配布することを禁じます。本サービスの検索結果を印刷物等として第三者に閲覧提供した場合、利用機関が責任を持って回収することとします。

第9条（利用料金）

1. 本サービスの利用料金は大宅壮一文庫が提示する利用料金表に基づくものとし、「利用タイプ」と「同時アクセス数」により利用料金を設定します。

2. 「同時アクセス数」の最小提供台数を「内部利用限定タイプ」は1台、「図書館利用者使用可能タイプ」は3台とします。両タイプとも最小提供台数より少ない「同時アクセス数」では利用できません。

3. 契約期間途中で「利用タイプ」「同時アクセス数」の変更はできません。「利用タイプ」「同時アクセス数」の変更は、契約期間満了により契約を更新する場合のみ可とします。その場合は、利用機関は1月20日までに書面で変更内容を通知するものとします。

4. 利用が1ヶ月に満たない月についても1ヶ月分の料金をお支払いいただきます。

5. 年間固定料金制とし、一括前納するものとします。利用開始月から翌年3月までの月数に所定の月額料金を乗じた利用料金及び消費税を合計した請求書を発行します。請求額を指定の期日までに大宅壮一文庫所定の銀行預金口座に一括で振り込むものとします。振り込み手数料は利用機関が全額負担するものとします。振り込み額が請求額に満たない場合は本サービスの利用はできないものとします。

6. 契約を更新する場合も利用料金は1年分一括前納とします。利用料金及び消費税を合計した請求書を11月末日までに送付します。請求額を指定の期日までに大宅壮一文庫所定の銀行預金口座に一括で振り込むものとします。振り込み手数料は利用機関が全額負担するものとします。指定の期日までに入金がない場合や入金に不足がある場合は3月31日をもってサービスを終了します。

7. 大宅壮一文庫は利用機関に事前に通知することにより利用料金を改定することができるものとします。その場合、大宅壮一文庫は6月末日までに利用機関に書面で通知するものとします。

8. 利用料金の支払い方法等について別途書面で条件を定めた場合は、本条の規定にかかわらず、書面で定めた条件に従うものとします。

第10条（サービス内容の変更等）

1. 大宅壮一文庫は利用機関に事前の通知をすることなく、本サービスの提供データの追加および改変をできるものとします。

2. 大宅壮一文庫は利用機関に事前の通知をすることなく、不測の事態の発生またはメンテナンス等により本サービスを休止することができるものとします。大宅壮一文庫はサービス休止により利用機関が被った一切の損害について、いかなる責任も負わないものとします。また、利用機関からの利用料金返還請求にも応じないものとします。

第11条（接続方式）

1. 本サービスへの接続方式は「IPアドレス方式」と「ID・PW方式」の2方式とします。ただし、「図書館利用者使用可能タイプ」については「IPアドレス方式」のみ接続可能とします。

2. 「内部利用限定タイプ」は、利用申込時に「IPアドレス方式」と「ID・PW方式」の2方式から選択できるものとします。

3. 「IPアドレス方式」は、利用機関を特定できる固有のIPアドレスのみ利用可能とします。指定のIPアドレスが利用機関を特定できない場合は、本サービスを利用できません。他の利用機関、自治体や教育委員会等で共用してるIPアドレスの利用はできません。IPアドレスの登録方法については別途「IPアドレス登録の注意書」で定めるとおりとします。極めて多数のIPアドレス登録など大宅壮一文庫で対応ができない場合は利用できません。

4. 「ID・PW方式」は、大宅壮一文庫が発行したユーザーIDと検索PW（パスワード）を用いて本サービスを利用することとします。利用機関は、ID・PWを適正に管理するものとします。ID・PWは、利用機関の職員のみが使用できるものとし、図書館利用者を含む第三者に譲渡、貸与、開示することはできません。利用機関は、ID・PWの管理不十分、使用上の過誤、第三者の不正使用などに起因するすべての損害につき責任を持つものとします。利用機関は、ID・PWが第三者によって不正に使用されたことが判明した場合は、直ちに大宅壮一文庫にその旨を連絡することとします。

5. VPN等で利用機関の外部からの接続は不可とします。

第12条（利用環境と動作保証）

1. 大宅壮一文庫は利用機関が本サービスの利用に関連して使用するいかなるシステム、機器及びソフトウェアについても一切動作保証は行わないものとします。

2. 利用機関の利用環境により障害が発生、本サービスの利用が停止した場合も、停止中の利用料金は返金しないものとします。

第13条（利用上の禁止行為）

1. 「利用タイプ」が「図書館利用者使用可能タイプ」の場合を除き、図書館利用者等の第三者が本サービスを直接使用することを禁止します。

2. 「図書館利用者使用可能タイプ」を利用する場合も、図書館利用者等第三者が使用する検索端末に直接プリンターを接続することを禁止します。

3. ID・PWを図書館利用者を含む第三者に開示、使用させることを禁止します。

4. 利用機関が本サービスから取得したすべてのデータ等の第三者への提供を禁止します。索引データの印刷物およびその複製物を第三者に対して売買、譲渡、貸与、刊行、配布等を行うことはできません。

5. 利用機関が本サービスから取得したデータを大宅壮一文庫の許可なく複製することを禁止します。電子媒体等へ複製することはできません。複製については大宅壮一文庫の許諾が必要です。

6. 利用機関が本サービスから取得したデータを電子メール等で送信することを禁止します。

7. 大宅壮一文庫および第三者に迷惑、不利益を与えるなどの行為や本サービスに支障をきたすおそれのある行為を禁止します。

8. 大宅壮一文庫および第三者の著作権その他の権利を侵害する行為を禁止します。

9. 大宅壮一文庫および第三者への誹謗、中傷または業務妨害を禁止します。

10. その他、法令に違反する行為等本サービスの支障となるいかなる行為も禁止します。

第14条（免責事項）

大宅壮一文庫は本サービスにより得たデータにより利用機関およびその利用者が被ったいかなる損害についても一切の責任を負わないものとします。

2009年11月1日作成

無断転載を禁ず／財団法人大宅壮一文庫